

施策マネジメントシート（令和 5 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	5	政策名	みんなでささえあう やさしいまち	
	施策 No.	2	施策名	高齢者福祉・介護の充実	
施策主管課		高齢障がい支援課		施策関係課名	国保年金課・健康増進課

1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)			③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)					
高齢者（65歳以上）			生きがいを持って自立した生活ができる					
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因
1	生きがいを持って自立した生活 ができていない高齢者（65歳以上） の割合	%	目標値	60.5	61.3	62.1	62.9	
			実績値	60.6	56.7	60.6	60.6	
			達成率	100.2%	92.5%			
2	高齢福祉・介護サービスが充実 していると思う市民の割合	%	目標値	35.3	36.4	37.0	37.6	
			実績値	37.7	39.6	60.6	60.6	
			達成率	106.8%	108.8%			
3	介護認定率	%	目標値	20.0	21.0	22.0	25.0	
			実績値	18.2	18.4	60.6	60.6	
			達成率	109.9%	114.1%			
4			目標値					
			実績値					
			達成率					
5			目標値					
			実績値					
			達成率					

2 施策（基本事業）の振り返り

基本事業	(施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。)
介護予防の充実と地域で 支えあう仕組みづくり	・生活機能低下を防いで住み慣れた地域で自分らしく生活が継続できるように元気アップ教室、いきいき百歳体操などの介護予防事業に取り組んだ。 ・「支えあい」の地域づくりの一環として、移動支援などの生活支援体制整備事業やオレンジカフェ・サロンなどの認知症施策推進事業に取り組んだ。 ・「小城市高齢者福祉計画」（計画期間：令和6年度～令和8年度）を策定した。
生きがいづくりの促進	・社会福祉協議会等に委託して事業実施している生きがいデイサービス、高齢者ふれあいサロン、高齢者生きがいづくり講座などを行い、高齢者の自立的な生活支援や社会的孤立感の解消を図った。

3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

・令和22（2040）年にかけて、85 歳以上の人口が急増するとともに、高齢者単独世帯や夫婦のみの世帯が増加することが見込まれており、介護保健サービスの需要は更に高まることが想定される中、高齢者が生きがいをもって、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、住民主体のボランティア活動の推進が必要不可欠となる。特にニーズの高い高齢者の移動支援に係るボランティアの人材の確保・育成が課題であり、実現に向けて検討を重ねていくことが重要となってくる。 ・少子高齢化により、将来的にも介護や医療に係る社会保障費の増加が見込まれることから、健康寿命の延伸を目指した取り組みの推進が必要となる。また、介護サービスが必要になった主な原因が認知症であることから、高齢者の健康寿命の延伸のためには、認知症施策が重要となってくる。 ・認知症高齢者の見守りや支援については、地域や介護事業所、警察など関係機関との緊密な連携もさらに必要となる。

4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

・高齢者が住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるように、在宅医療介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業といった既存の取り組みについて引き続き充実させていくとともに「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進していく。 ・住民主体のボランティアによる支援体制の確立のため、ボランティア人材の確保と育成を図っていく。 ・高齢期の生活の質を高めるほか、社会保障費の抑制を目的として、健康寿命の延伸に向けた健康づくり施策について関係部署と連携を図っていく。
--